

さくら市男女共同参画情報紙

らいき

第34号

2025.3.31

あなたらしく
生きられる
社会を目指して

ゆう～

LIKE YOU

+X+ +X+

ちやうどい!
さくら市
SAKURA CITY



今年度は「男女共同参画の視点による防災」をテーマに、
防災について学びました

みんなにやさしい防災講座

令和6年12月5日(木)に、さくら市市民活動支援センターさくらいふで「みんなにやさしい防災講座」を開催しました。

講師として、(公財)とちぎ男女共同参画財団 芳村 佳子 氏にお越しいただき、防災についての講話や、ワークショップ、避難所設営体験を行いました。



今年度は、例年行っている市長・副市長との意見交換会に代え、委員会主催の防災講座に市長・副市長にも参加していただき、知識の共有を図りました。



参加した委員の声



本委員会主催で「みんなにやさしい防災講座」を開催しましたところ、市民の皆さんにもご参加いただき、さらに、公務ご多忙の中、市長、副市長にもご出席いただき大変ありがとうございました。

市長、副市長には約2時間の講座、ワークショップにも熱心にご参加いただき、行政としての意識の高さを感じ入りました。ワークショップでは、段ボールベッドや間仕切り、簡易トイレなどを実際に組み立てました。

昨年2024年は能登半島の地震に始まり、追い打ちをかけるような大雨被害が重なり、その辛苦を思うと言葉がありません。一日も早い復興を祈るばかりです。

日本中、世界中で甚大な自然災害が発生し、自然の威力の前に私たちはあまりにも無力ではありますが、日頃から少しでも、もしもの事態を意識し、地域の中で、共助・公助がすみやかに発揮できるようにしたいと感じました。

福田敦子 委員



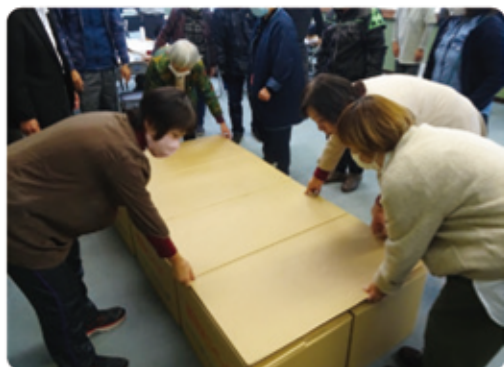
今回の防災講座では、自分たちが避難所のリーダーになったつもりで、起こり得る諸問題の対応策を、極限状態にある避難者の心身を想像しながら考えました。避難所で真っ先に対応すべきなのがトイレ問題だそうです。断水時、これは自宅避難も同様で、各家庭で簡易トイレ袋等の備えが必要です。避難所用品は日々進化しており、簡単に作れる丈夫な段ボールベッドや、プライバシー確保ができる屋内用簡易テントなど、これらの組立体験をさせて頂きました。

男女共同参画の視点から、避難所の防災リーダーには、女性をはじめ多様な人材が必要になります。いつどんな災害が起きてもおかしくない昨今、自分や周りの人々と共に皆で防災知識をさらに高め、非常時に備えたいですね。

鈴木知恵 委員



避難所で起こる問題について、自分たちが避難所のリーダーとしてどう対応するか、グループごとに話し合い発表しました。



ダンボールベッドや簡易トイレなどを組み立てる、避難所設営体験を行いました。

防災の勉強会

令和7年2月18日(火)に、市役所で市男女共同参画推進委員と市役所の職員を対象に、「防災の勉強会」を開催しました。

栃木県防災士会副理事長 伊東 紀枝 氏を講師にお迎えし、避難所運営ゲーム(HUG)を行いました。県防災士会の一員でもある、大橋委員と渡邊(文)委員は、今回講師として参加しました。

参加した委員の声



さくら市男女共同参画推進委員会主催の防災勉強会が開催され、県防災士会の伊東副理事長が講師として、私はスタッフとして参加させていただきました。今回の勉強会は、避難所運営ゲームHUG(通称ハグ)を行いました。避難所で起こると想定される様々な出来事に対して、避難所の運営側の立場となつて、難関・難事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。1チーム5～6名程度の運営本部を想定し、相談しながら臨機応変に、尚且つスピーディーに行わなければならないものです。

災害は、起こらないことに越したことはありませんが、いざという時に、この体験が少しでも記憶として残り、お役に立てれば幸いです。

大橋克世 委員



参加した市役所職員の声



今年度最後となった男女共同参画推進委員会の活動は、栃木県防災士会の方々をお招きしての勉強会でした。参加者は委員のほか、参加を希望した市役所の職員でした。

県防災士会伊東副理事より避難所運営ゲーム(HUG)の説明があり、その後3班に分かれて実際に避難所運営を机上で行いました。

HUGを通じて、実際に避難所運営を経験した人(訓練も含めて)は、与えられた課題に対してそれを俯瞰的な視点で捉え、冷静に判断しようとする発言をする傾向があり、経験したことがない人は、一つひとつの課題・要望をすべて解決しようとする傾向があるように感じました。経験を積むことで、避難者全体の利益を考えられるようになるのだと思いました。

災害が起きたときの対応に正解はありません。大事なことは、いつ災害が起きてもすぐに対応ができるよう、こうした取組みを通じて準備しておくことだと学びました。



編集後記

避難所運営ゲームは、混乱した中で次々と起こる問題や生理的現象、我慢の限界など、非常に考えさせられるシミュレーションでした。特にトイレの問題のリアルを知ることが出来ました。前回の防災講座以降、我が家でも簡易トイレを購入し、トイレトイレットペーパーの備蓄も増やしました。

また、身を守る為にも、女性が知識を持ち避難所でリーダーシップをとる必要を感じました。他にもさくら市防災ハザードマップを1頁から読んでいくと、防災に必要な知識がわかりやすく書かれていることを教えていただきました。市の担当の方の熱意を感じる機会にもなりました。日々の生活が多くの方に支えられていることに、この場を借りて感謝申し上げます。

米山百桃 委員

さくら市 男女共同参画推進委員募集中

私たちと一緒に市の男女共同参画に向けた活動をおこなってみませんか？イベントの企画や情報紙の発行など、誰もが住みやすく明るいさくら市を目指して楽しみながら活動していきましょう！老若男女・国籍も問いません。ぜひ、あなたの力を活かしてください！

問 総合政策課 ☎681-1113

◆編集:さくら市男女共同参画推進委員会 ◆発行:さくら市総合政策部総合政策課
〒329-1392 さくら市氏家2771番地

TEL:028-681-1113 FAX:028-682-0360 E-mail:sogoseisaku@city.tochigi-sakura.lg.jp

